

ヴィルヘルムス・ホーエ（お城と庭）の見学  
ヘラクレスの像 遺跡 電車～町へ

13:30～ オーバーゼーンにてトルコ料理～路面電車にて～カールス・アウエ（お城と庭園）

15:00～ カッセル大学の実験住宅と学生の実習見学  
粘土でつくる建築  
建築家ミンケの説明

19:00～22:00 カッセル大学にて  
竹の会の発表  
岩切 河野 植田 八木 矢房 柴の順にスライド発表  
学生約50名参加

発表内容

増殖するコミュニティホール 木の温もりある児童館 環境に溶け込む温浴施設

6/7（水） 8:30～10:30 バスにてポッペンハウゼンへ

10:30～ フリータイム（町の散策 スーパー他）

12:30～ 食事（ホテルにて）

14:00～ 世界文化遺産ローン見学

ヴァッサークッペにてローン事務局の説明

ローン地域

12万人住んでいる（3州にまたがる）

草原が広がっているのはこの場所のみである

土壌の種類によって違った植物が育つ

小さな農業が財産となり原風景となる

農業の風景を保存する

農業がダメになると森になってしまう

食べ物をつくってこの農業を守って行く

ローン羊が原産（頭が黒い）

普通の羊より30%肉が少ない

ニュージーランドから羊を輸入すると石油を消費する

何故安くなるのか

システムがおかしい。

解放ゾーン 自然との共生

自然に親しみながら地元を理解してくれる人々を歓迎する

リゾート地みたいな大きなホテルをつくり、バスで乗り入れる観光は

望まない

小さなペンション、レストラン、etcがある

農業といっしょに成り立つことが望ましい

経済の仕組み

エネルギー使用を減らす

輸送エネルギー使用削減が大きな目標

ナタネ油の使用

昔の人は自然と共存していた 今自然と共存する手法を大切